

経営者の皆様へ ～ IoT機器等の開発時のセキュリティ向上に向けて

IoT製品のセキュリティ対策の不備により、お客様に被害が及ぶおそれや、メーカーに多大な不利益が生じる可能性があります！

- IoT機器等に対するサイバー攻撃は急増しています。IoT機器等メーカーが、製造するIoT機器等に十分なセキュリティ対策を行わなかった場合、悪意ある攻撃者によって脆弱性をついた不正な操作がなされるなど、お客様に被害が及ぶおそれがあります。また、メーカーについても、経営に対して多大な不利益が生じる可能性もあります。

【事例】脆弱な家庭用ネットワークカメラの開発企業に対する訴訟

家庭用ネットワークカメラに対して、脆弱性を悪用した不正アクセスが行われ、嫌がらせや身代金の要求等の被害を受けた複数のユーザにより、製品開発企業に対して500万ドルを求める集団訴訟が起こされました。



本ガイドでは、IoT機器等にセキュリティ対策を行う第一歩として取り組んでいただきたいことを示しています！

- IoT製品にセキュリティが実装されていることを確認するためには、**セキュリティ検証が有効**です。しかし、**出荷前の検証で問題が発見された場合、製品の販売に影響が出るほか、必要な機能が実装できないなど製品のセキュリティ自体に支障が出る可能性**もあります。そのため、**設計や開発段階からセキュリティを考慮すること(セキュリティ・バイ・デザイン)がとても重要**です。

- IoTのセキュリティに関しては国内外に複数のガイドラインや規格等が提示されており、対策に取り組もうとする企業には、**何から始めてよいか分かりにくい**場合があります。
- 企業の経営方針、成長ステージ、人員の状況や体制、予算、製品の特性、顧客との関係など、**自社を取り巻く様々な環境を考慮しつつ、優先順位をつけて、まずできるところから対策を進めることが重要**です。

対策を進める際、
最初に取り組む事項

対策を効果的に進める
中小企業の事例集

方針・体制構築

対策1

製品に関するセキュリティポリシーを策定・周知する

対策2

セキュリティポリシーを適切に運用するための体制を整備する

設計・開発

対策3

IoT機器等において守るべきものを特定し、それに対するリスクを想定する

対策4

守るべきもの及びリスクを考慮した設計・開発を行う

運用・保守

対策6

出荷後もリスクに関する情報の収集や関係者とのコミュニケーションを行い、適切なサポートを行う

検証

対策5

セキュリティに関する要件が満たされているかを検証する

- 自社製品の特徴を深く理解し、責任を持ってセキュリティ対策を推進するためには、**セキュリティ専門家を目指す社内人材を見だし、適切な役割と権限を付与するとともに、長期的なキャリアパスも見据えて育成**することも検討しましょう。

経営者が率先して、セキュリティ対策を推進しましょう！

- 対策によってセキュリティリスクを許容できる水準に下げることが、**企業として果たすべき社会的責任であり、経営者は責任を持って実践しなければなりません。**

経営者が率先して推進すべきセキュリティ対策

- ✓ 開発者への対策指示、企業の対策方針の検討、予算や人材の割当
- ✓ 部品の調達先や保守の委託先を含めた対策
- ✓ インシデントに備えた、平時からの社内外関係者との信頼関係構築